

平成29年度 都立府中東高校 ボクシング部

●3月27日 栃木県 白鷗大足利高校 遠征2日目

2日目最初はスパーリング。この日の午前は千葉県の拓大紅陵高等学校も参加しました。田辺は昆選手、岩井は木村選手、天野は松野選手、星野は12月の全日本女子バンタム級で優勝した吉澤選手と手を合わせました。全日本女子ランキングF級1位とB級チャンピオンの組み合わせは豪華です。いい経験となります。



田辺



星野



岩井



天野

田辺は同レベルの相手。前に出て攻めることができました。山梨に行った時よりもステップインもディフェンスも良くなりましたが、まだまだ課題はあります。岩井も同じようなレベルの相手に攻めることができました。しかし田辺同様攻防に課題はあります。天野は十分に攻めることができる相手だったところに、単発、攻めが不十分だったところに課題があります。星野の相手は全日本チャンピオンで前に出てくる選手。ステップインの速さ、コンビネーションの豊富さ、ボディー打ちのうまさ、さすがです。しかしチャンピオン相手に左を終始活かし、自分の距離でボクシングを展開しました。星野は自分の距離をわかり始めています。



スパーの後はマス、シャドーを行って午前は終了です。午後に備えます。

●3月27日 栃木県 白鷗大足利高校遠征 2日目午後



午後の練習は篠崎先生が本練習を支えるフィジカルメニューをして下さいました。引っ張り相撲や手のたたき合いなど反射神経や基礎体力の強化に役立ちます。その後はマスをを行い、お互いにミットを持ったりしました。



マスやミットなど、白鷗大足利の選手と率先して行いました。日体大や武相、朝鮮高校、山梨県と遠征に行くことが増えてきましたが、普段練習しない選手との練習のありがたさを選手は十分に理解しています。ご指導下さる先生、また遠征にご理解下さる保護者にも感謝です。